

ギャビー・パディラ
GABBY PADILLA

中野有紗
ARISA NAKANO

脚本・監督：ハイメ・パセナ2世
Jaime PACENA II

ここはもう、
あなたの
“ホーム”

Kono Basho この場所



全編陸前高田市ロケ フィリピン・日本合同制作映画

『この場所』特別上映会

HOMECOMING SPECIAL SCREENINGS OF "THIS PLACE"

2025年

6月20日(金) 6月21日(土)

18:30 上映

13:30 上映

アフタースペシャルミニライブ
まっと(シンガーソングライター)

アフタートーク
ゲスト：畠山直哉(写真家・陸前高田市出身)
終了後、フィリピンのおやつ試食会などの交流を行います。

上映時間 85分 各回舞台挨拶あり
ホワイエにてパセナ監督の作品展示、
山猫堂出張販売を予定しています。

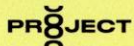
場所 陸前高田市コミュニティホール
シンガポールホール

入場料 大学生以上500円
(高校生以下は無料)



交流プログラム実施のため、
事前申し込みをお願いいたします。
当日の飛び入り参加も歓迎です。

主催：陸前高田AIR実行委員会 特別協力：国際交流基金 後援：陸前高田市、陸前高田市教育委員会、陸前高田市国際交流協会 上映協力：Project 8 Projects、Spanic Films 協力：長谷川建設、箱根山テラス、陸前高田しみんエネルギー、陸前高田ドライビング・スクール、八木澤商店 | CAMOCY、キャッセン大船渡、一般社団法人SUMICA、山猫堂



陸前高田で初めて出会う、
フィリピン人の姉と日本人の異母妹
“アイデンティティーの再生”と“心の復興”の物語

あなたはそこに、
わたしはここに、
そしてわたしたちはこの場所に、いっしょに立っている。
陸前高田という、この美しい世界の片隅に。

You are there,
I am here,
and we are standing in this place together
on the beautiful corner of the planet,
called Rikuzentakata.

畠山直哉
Naoya Hatakeyama



陸前高田オールロケ、ハイメ・パセナ2世監督、
比日合同制作長編映画『この場所』の
特別上映会を開催します。

パセナ監督は、2013年「陸前高田アーティスト・イン・レジデンスプログラム」の参加アーティストとして滞在したことをきっかけに、以後10年以上にわたり訪問を続け、映像、写真、ドローイングなどの作品制作を通して地域を見つめ、地域の人々との交流を深めてきました。東日本大震災からの大規模な復興工事が行われる中での人々の暮らし、変わりゆく街の姿と、今も変わらずにある美しい海や山、人々の心の中に刻まれた記憶の風景。フィリピンと日本との間にある移動や移民を巡る歴史。パセナ監督自身の人生の旅にもなぞらえながら、長い時間をかけて構想されてきた本作は、陸前高田を始めとする多くの地域の方々からのご協力・ご支援と、優れた制作チームを得てようやく実現しました。フィリピン人が描く日本への眼差し、深い洞察、美しい映像は多くの人々の心に届き、昨年行われたフィリピン最大のインディペンデント映画祭「シネマラヤ・フィリピン・インディペンデント・フィルム・フェスティバル2024」では、最優秀監督賞他、4部門を受賞し高い評価を受けました。

監督はこの作品を「陸前高田市へのラブレター」だと言います。その思いと感謝を直接届けるために行う本上映会では、監督による舞台挨拶の他、ゲストをお招きしたアフタートークやミニライブなど地域交流イベントを合わせて開催します。みなさまのご来場を心からお待ちしています。

主催者

あらすじ

文化人類学者である28歳のフィリピン人女性のエラ（ギャビー・パディラ）は、疎遠になっていた父親・エマンの葬儀のために陸前高田市を訪れる。そこで出会ったのは、父の異母姉妹であるレイナ（中野有紗）。二人は、言語、文化の違いや家族観の相違、そして父親を亡くした悲しみに直面し、激しく反発し合う。やがてエラは、この街が経験した大きな震災について、そして住む人々にもたらしている傷の深さを理解していくが…。

監督プロフィール

ハイメ・パセナ2世（フィリピン）
Jaime PACENA II (Philippine)



フィリピンのマルチメディアアーティスト。広告業界と音楽業界で映像ディレクターとして活躍。2010年に国際交流基金による「ジェネシスプログラム」参加のため初来日し、国際芸術センター青森（ACAC）でのインターンを経験。その後、陸前高田AIRに2013年レジデントとして参加したことを機に、以後10年以上にわたり滞在制作を繰り返してきた。2023年には陸前高田市立高田第一中学校3学年の生徒たちへのワークショップを行った。

ゲストプロフィール



まっと Matto

岩手県陸前高田市在住のシンガーソングライター。東日本大震災を機に作った楽曲「世界中が歌えば」の楽譜は3000枚が世界中に広がり今も尚続く。2017年この歌を元にした日本初の子ども向け平和の自己啓発絵本を出版。2013年にハイメ監督が「The last Century」のMVを制作したことをきっかけに交流を深め、本作への出演およびエンディング曲を提供した。



畠山直哉 Naoya Hatakeyama

写真家。1958年陸前高田市気仙町生まれ。主に風景や建物などを撮る。1997年木村伊兵衛写真賞。2000年毎日芸術賞。2001年ヴェネチア・ビエンナーレ日本館展示参加。2011年の東日本大震災以降は陸前高田の写真を継続的に撮影し発表してきた。2012年芸術選奨文部科学大臣賞。2012年ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展で「陸前高田みんなの家」の展示が国別参加部門金獅子賞を受賞。2015年紫綬褒章。2025年まで東京芸大映像研究科教授。日本芸術院会員。